

## 栃木県

### 1. 商品名等

商品名	青春（あまずっぱい）いちごまんじゅう	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
	<p>いちごの形をした「いちごまんじゅう」は、いちごミルク餡を中心に販売することになりました。完成品はいちごの形を模し、餡を包む生地表面は凹凸でいちごの粒を表現しています。鹿沼市産とちおとめいちごを使用した鹿沼市限定の「青春（あまずっぱい）いちごまんじゅう」と栃木県産とちおとめを使用した栃木県限定の「青春（あまずっぱい）いちごまんじゅう」があります。いちごの風味が感じられる仕上がりです。1箱6個入りです。</p>	

### 2. 学校紹介

学校名	栃木県立鹿沼商工高等学校	電 話	0 2 8 9 - 6 2 - 4 1 8 8
住 所	〒3220049 栃木県鹿沼市花岡町 180-1	F A X	0 2 8 9 - 6 3 - 0 7 1 0
担 当 者	金子 安行	酒井 正美	諏訪登志男
U R L	<a href="http://www.tochigi-edu.ed.jp/kanumashoko/nc2/">http://www.tochigi-edu.ed.jp/kanumashoko/nc2/</a>		
E-mail	kanumashoko@tochigi-edu.ed.jp		

本校は明治42年4月、上都賀郡立農林学校として開校し、その後、栃木県立鹿沼農商高等学校の変遷のなか、現在、栃木県立鹿沼商工高等学校として今年度創立112周年目を迎える歴史ある学校です。これまでに卒業生は26,313名を数え、産業界はもとより、社会の指導的役割を担う有益な人材を多数輩出してきました。今後も社会及び地域経済の発展に寄与する工業人、商業人の育成に努めます。

現在、1学年は全日制情報科学科（工業科）1クラス、商業科3クラス、定時制普通科1クラスで構成され、1クラスの定員は40名です。商業科は資格取得への取り組みを積極的に進めており、簿記や情報処理、珠算・電卓、ビジネス文書（ワープロ）、商業経済などの資格取得を目指す学習を通して、専門知識や技能の深化を図って、進路実現に結びつけています。

### 3. 実施科目等

科 目 名	課題研究、商業部	単 位 数	2単位
対 象 生 徒	商業科	担当教員数	3名

### 4. 予算関係(費用)

栃木県教育委員会令和3年度未来をつくる高校生地域連携協働推進事業  
P T A

## 5. 開発経緯等

いちご饅頭の開発販売は平成元年度に開発販売した「いちご焼き」の検証を踏まえ、大量生産できる商品、お土産品として日持ちのする商品の開発を目標に、企画者提案型で商品開発ができるOEMで開発販売することになりました。令和2年2月から開発をはじめ、提携先三宝製菓株式会社に協力を頂くことになりました。令和2年10月には、いちご饅頭の根幹となる意匠権「いちごの菓子」が取得でき正式に開発に着手しました。いちご饅頭開発は、完成時期を令和3年10月に設定しました。いちご饅頭の開発販売は、まず、いちご饅頭の金型を製造するために木型を完成させることです。意匠登録されたいちごの菓子の図案を基に木型第1案を完成させ、かわいらしさを出すために、いちごのへたを大きくした第2案を考えました。しかし、ここで改良したいちご饅頭の意匠は有効かという問題が発生し確認のため知的財産権の研修を行いました。その結果、改良したいちご饅頭は有効であると分かりアンケート調査結果を踏まえ木型の最終案を決定しいちご饅頭のカスタムを発注することができました。そして、令和3年7月にはいちご饅頭のカスタムのサンプルができあがり正式発注となりました。その後、9月に金型が完成し、中身餡を開発し「青春（あまずっぱい）いちご饅頭」として10月に販売することになりました。

## 6. 販売形態・期間

④  
・  
無

注文による販売等

## 7. 協力者等

④  
・  
無

三宝製菓株式会社  
栃木県教育委員会 他

## 8. 商標登録の有無

④  
・  
無

「いちごの形の菓子」として意匠権を令和2年10月に取得

## 9. 今後の課題・展望等

栃木県のお土産品として認知されるよう広報活動を行うとともに、令和4年度に開催される「いちご一会とちぎ国体（第77回国民体育大会・第22回全国障害者スポーツ大会）」のお土産品として販路拡大を目指します。